

南京都病院だより

No.70 2023.05

南京都病院

<https://minamikyoto.hosp.go.jp/>
編集：南京都病院広報委員会

Topics

当院RI検査(核医学検査)のご紹介

放射線科 医長 游 逸明ゆう いつ あき / 放射線科 技師長 伊藤 譲一い どう じょう いち

● RI検査(核医学検査)とは

RI (Radio Isotope: 放射性同位元素の略称) 検査は、核医学検査あるいはアイソトープ検査とも呼ばれます。検査内容は、特定の臓器に集まる性質を持つ薬剤(微量の放射性物質を含む)を投与して、その薬剤が集まった臓器からわずかに放出される微弱な放射線を専用の機械で体外から検知して画像化します。そうして得られた画像は、体の中に存在する腫瘍を写(うつ)し出したり、臓器の状態や機能、血流の状態等を画像化・数値化します。RI検査で使用される薬剤は種類によって集まる臓器が異なり、この性質を利用して色々な種類の検査が行われます。当院では主に、脳や全身骨、肺、甲状腺、腎臓等のRI検査を行っています。当院の放射線科で施行している代表的検査のいくつかを簡単にご紹介致します。

● 骨シンチグラフィ

転移性あるいは原発性骨腫瘍の有無を調べるために行われる事が多く、特に乳がんや肺がん、腎がん、前立腺がんなどの骨転移の有無や程度の評価に有用です。

● 脳血流シンチグラフィ

脳内の血流異常の有無やその場所を画像化し、認知症や変性疾患の鑑別、脳血管障害の有無やその程度の評価、てんかんを起こしている部位の検出などに有用です。特に最近は認知症の診断目的に良く行われます。

● 脳ダツトスキャン

パーキンソン症候群(手足の震え、筋肉のこわばり、動きが鈍くなる、身体のバランスがとりにくくなる等の症状を有する疾患の総称)を示す疾患の鑑別に有用です。パーキンソン病の治療が有効な疾患(パーキンソン病・レビー小体型認知症等)かどうかを評価する目的で行われます。

○ RI検査の流れ

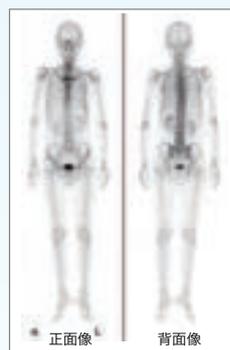
目的に応じた放射性医薬品を主に静脈注射で投与します。注射が完了してから撮影を始めるまでの時間は検査の種類によって異なり、例えば脳血流シンチグラフィ検査では注射直後から撮影を行う一方で、骨シンチグラフィ検査やダツトスキャン検査は注射後3時間程度経過した後に撮影を行います。撮影はおよそ30分程度かかります。なお検査前日の前処置や当日の絶飲食等は通常必要ありません。

○ 身体への影響は？

CTやMRIで使用される造影剤でまれに起こり得る様な薬による副作用はありません。投与される放射線の量はごく微量で、また半減期(放射線量が半分になる時間)が非常に短く(脳血流シンチや骨シンチ等で使用されるテクネシウム製剤で約6時間)、ほとんどが自然な排泄作用によって体内から除去されますので、RI検査による身体への影響については心配する必要はありません。

○ その他

- ご依頼頂きました検査画像・所見は検査後2~3日程度でご紹介元の先生へFAX・郵送にてお送り致します。
- RI検査はここでご紹介した種類のもの以外にも行っております。
- 認知症の診断には脳血流シンチ検査と脳MRI検査の併用が非常に有用で、ご依頼頂ければ両検査を同じ日に連続して行うことも可能です(認知症検査セット)。
- その他RI検査につきましてお気軽に当院放射線科(電話番号:0774-52-0065)までお問い合わせください。



骨シンチ検査画像



RI検査室風景

研修実施報告

在宅医療従事者向け研修

教育研修委員会

令和3年度に引き続き、令和4年度も京都府「在宅医療サポート病院支援事業」を本院が実施することになり、地域の在宅医療従事者向け研修を3回開催いたしました。本院が日々の診療の中で積み重ねてきた経験・知見を在宅医療の現場で活用いただけるように情報発信を行いました。

以下3つのテーマにそった講演を提供いたしました。



第1回 呼吸管理と包括的リハビリテーション

- 「呼吸管理と包括的リハビリテーション」 診療部長・呼吸器内科 すみ けん すけ 角 謙介
- 「包括的呼吸リハビリテーション」 主任作業療法士 おがさわら のりこ 小笠原 則子



第2回 認知症の方の包括的サポート

- 「認知症の診断と治療」 臨床研究部長・脳神経内科 かわむら かずゆき 川村 和之
- 「認知症患者への当院での取り組み」 認知症ケア認定看護師・副看護師長 さか かずま 坂 和真
- 「認知症に対する包括支援センターの役割」
そのべ みか 城陽市中部地域包括支援センター・主任保健師 園部 美香



第3回 呼吸ケアセンターの取り組み

- 「南京都病院呼吸ケアセンターの運用概要」
ちばら ゆういち 呼吸ケアセンター長 荻原 雄一
- 症例報告
 1. 「ギランバレー症候群による急性呼吸不全からの回復支援」
 2. 「高度肥満による2型呼吸器不全からの回復」



①②第1回 呼吸管理と包括的リハビリテーションの様子 ③④第2回 認知症の方の包括的サポートの様子
⑤第3回 呼吸ケアセンターの取り組みの様子

令和2年からの新型コロナウイルス感染防止の観点から、昨年と同様にWEB研修の形をとりました (Cisco Webex Meetingsを使用)。3回あわせて合計で111名の方にご参加いただきました。

参加者の方に、事後アンケートにご協力いただきました。第1回の呼吸管理と包括的リハビリテーションでは、「**わかるようでよくわかってなかった作業療法が良くわかった。**」「**治療方針がとてもわかり易かった。**」とご意見をいただきました。第2回の認知症の方の包括的サポートでは、「**認知症患者さんが安心して過ごせるような関わりが大切だと勉強になりました。**」「**診断、治療については難しく理解しにくかった。**」とご意見をいただきました。第3回の呼吸ケアセンターの取り組みでは、「**症例報告は、とても勉強になりました。**」「**症例報告で具体的な治療やリハビリ・看護などの内容を聞きたい。**」とご意見をいただきました。アンケート結果をもとに、今後もより良い情報を提供していけるよう工夫を重ねながら取り組んでいきたいと思っております。

ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。今後も地域の皆様のお役に立てるような研修会を企画して参ります。当院ホームページ等でご案内させていただきますので、ぜひご参加ください。

当日使用いたしました資料については、当院ホームページに掲載しております。ご興味のある方は下のURL・QRコードよりアクセスしていただきご覧ください。

アドレス：<https://minamikyoto.hosp.go.jp/profession/kensyu.html>



南京都病院ホームページ
在宅医療従事者向け研修

地域連携

地域連携に力を傾けておられるみなさまをご紹介します

訪問診療と往診を組み合わせ
担当患者さんの療養を
24時間 365日サポートします

機能強化型在宅療養支援診療所
在宅緩和ケア充実診療所



老年内科 あこ診療所
院長 藤井 亜湖 先生



- 京都府木津川市吐師宮ノ前6 学研どーり101
- TEL.0774-66-1781 ● FAX.0774-66-1705
- <https://ako-home-clinic.com>

診療時間	外来 ● 訪問診療 ○				
	月	火	水	金	土
9:00~10:00	●	○	●	●	○
10:00~12:00	○	○	○	○	○
13:00~16:00	○	○	○	○	○
16:00~17:00	○	○	●	○	○

木曜・土曜午後・日祝 休診



あこ診療所は2021年11月木津川台近くの22号線(八幡木津線)沿いに開業いたしました。主に訪問診療を行っております。

通院が困難な患者さんを対象に定期的・継続的に、月2回訪問する診療形態です。24時間365日患者・ご家族からの連絡を受け対処法の相談にのり、必要に応じて往診をしております。

看取りが近い方や退院直後で状態が不安定な方、重度褥瘡、癌末期などの方には週1-2回訪問することもあります。当院ではおおむね月1~数名は在宅(施設含む)看取りをしております。

常日頃からケアマネージャーさんと連携をとりながら、介護保険・医療保険を使い各患者さんごとに在宅医療の形を作っていくのが当院の仕事の一つです。患者さんの状態(特定疾患・身体障害の有無など)によって制度的にできることは変わり、患者さんの考え方によって目標は変わってきます。そして患者さんにとりまく家族などの人的環境(独居なのか、介護力のある家族がいるのかなど)や住環境(階段の有無や部屋の広さ)によって、あるいは居住地域(訪問看護ステーションや訪問介護事業所、薬局の豊富さなど)によっても、できること・目標は変わっていきます。常に個別対応で、トライアンドエラーなこともあります。

医療内容的には、誰でも在宅酸素療法ができるとか毎日点滴できるといった誤解を解消しながら、在宅医療でできる医療、当院で展開できる医療を適宜提案しながら進めております。在宅医療は費用面も複雑ですので、できること・できないことなど事前にご相談いただければと思います。

地域の方の笑顔の花を増やしたい

訪問看護ステーション
はなえみ

管理者 植村 瞳 様



- 京都府城陽市平川山道21-1 ケイズガーデン山道102
- TEL.0774-54-4000 ● FAX.0774-54-4005
- <https://hanaemi2525.com>
- 営業日:月曜日から日曜日 24時間緊急対応あり
- 訪問エリア:城陽市、宇治市、京田辺市、八幡市、井手町、宇治原町
- flomile@hanaemi2525.com お気軽にご相談下さい



初めまして。訪問看護ステーションはなえみの管理者の植村瞳と申します。

私たちは令和5年3月1日に城陽市久津川駅の近くに開設いたしました。

『はなえみ』は大和言葉で花笑みと書きます。ふわっと笑う笑顔のことを花笑みと言います。看護師をしている

中で患者様やご家族様のふわっと笑う笑顔に何度も癒されてきました。ふわっと笑うそんな笑顔が私は大好きで、花笑みを地域で増やしたいという想いを込めて名付けました。また、たくさんの方に呼んでもらいたいという想いもあり漢字ではなくひらがなで表記しております。

開設に至った経緯といたしましては、病院で働いている中で「病院に来ることが出来て安心した」と言ってくれることが多かったのですが、その反面出来るならお家で過ごしたいというご希望も多く耳にしてきました。病院だけでなくご自宅でも安心して過ごしていただけるようお手伝いがしたいと思いました。スタッフは看護師3人で超急性期から終末期まで様々な経験があり、それぞれ強みとしているところが違うのでみんなで相談しながらご自宅での生活をお手伝いさせて頂けたら幸いです。

城陽市を始めとし、山城北地域でフットワーク軽く訪問していきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

部門紹介① 手術室 患者さんに安心・安全に手術を受けていただくために

手術、検査ではスタッフ全員が連携し、患者さんに安全に手術を受けていただけるよう取り組んでいます。

手術室では呼吸器外科・消化器外科の手術を行っています。呼吸器外科は主に胸腔鏡で手術を行っています。手術前には、医師や病棟看護師、手術室看護師で打ち合わせを行い、患者さんの情報を共有し、理解を深めています。手術前日までに手術室看護師が病室に伺い、手術室の様子を紹介したり、手術前後に必要な事を説明しています。手術や内視鏡検査の

説明を通じてわからないことがあれば、ご家族も含めて、ご納得のいただけるように努めています。

内視鏡検査室では、上部消化管・下部消化管・気管支鏡などの検査を行っています。患者さんの検査に対する思いを聞きとり、苦痛が最小限になるように医師と看護師で最善の検査方法を検討し、患者さんに安心して内視鏡検査を受けていただけるよう支援しています。



←手術の様子



↑上部消化管内視鏡の様子



術前訪問の様子→

部門紹介② 薬剤部 薬剤管理をスムーズに進めるための新たな取り組み

薬剤部では、調剤業務・病棟業務・チーム医療を軸に日々業務に励んでおります。今回は、新しく始めた業務や取り組みについて紹介させていただきます。

1つ目は入退院支援センターでの業務です。入院前に持参薬確認を始め、OTC・サプリメント・副作用歴・一包化の有無・管理状況等を確認しています。特に、検査・手術目的入院の場合は事前に中止に該当する薬剤（OTC・サプリメントも含む）の有無も合わせて確認しています。

2つ目は退院時にかかりつけ薬局へ入院中の治療に関する情報を提供する「薬剤管理サマリー」の作成です。主に結核治療を行っている患者さんの情報を提供しています。記載項目は持参薬や退院時処方・検査データおよび処方変更や追加の理由、指導における注意点などです。今後も入院から外来へ移行する際

の円滑なツールとして対象患者さんを拡大しながら継続していきます。

3つ目はWEBを活用した学習会の実施です。会場に移動することなく学習するチャンスが増え専門性の向上のための新たなツールとなっています。これからも必要に応じて新しい業務に着手し、患者さんが安心・安全に服薬できるよう努めてまいります。



新採用職員のご紹介

令和5年4月1日に南京都病院の新メンバーを迎え入れました。新型コロナウイルス感染症の発生者数は、減少しています。しかし、今年度の新採用職員はコロナ禍で学生時代は実習や授業の制限をやむなくされていました。不安の中、4月3日から3日間の新採用者研修が行われ、国立病院機構や南京都病院について知り、社会人としての基本的なマナー・接遇、コンプライアンスなど、働くために必要なことを学びました。少しでも早く職場に慣れ、「私たちは、分かりやすく、安全で安心して受けられる質の高い医療を提供します」という南京都病院の理念に基づいた行動がとれ、信頼される職員に成長できるように支援を続けていきます。どうぞよろしくお願いいたします。(教育担当看護師長 濱村 恵子)



お詫びと訂正

令和5年1月発行「南京都病院だよりNo.69」の4ページ上部掲載『べつぶ内科クリニック』の記事中、院長先生の名前に誤りがございました。
正しくは、**別府 浩毅 先生** です。
以上のように訂正し、謹んでお詫び申し上げます。

広報委員会



南京都病院

独立行政法人国立病院機構

〒610-0113 城陽市中芦原 11 番地
TEL.0774-52-0065 FAX.0774-55-2765
時間外緊急時 TEL.0774-52-0642

<https://minamikyoto.hosp.go.jp/>

当院は在宅療養安心病院に登録しています。詳しくはかかりつけ医にご相談ください。

〈地域医療連携室〉

TEL.0774-52-0191(直通) TEL.0774-52-0065 (代表)
FAX.0774-58-0270

月～金 8:30～19:00 (土日祝休み)

E-mail: 407-renkei@mail.hosp.go.jp

※予約状況を確認し、その場で受診日時をお返しいたします。なお、お時間を要する場合は折り返しお返事させていただきますのでご了承ください。

診療科のご案内

- | | | |
|--------------|--------------|---------|
| ● 内科 | ● 脳神経内科 | ● 呼吸器内科 |
| ● 消化器内科 | ● 循環器内科 | ● 小児科 |
| ● 外科 | ● 整形外科 | ● 呼吸器外科 |
| ● 皮膚科(入院のみ) | ● リハビリテーション科 | ● 放射線科 |
| ● 心臓内科(入院のみ) | ● 歯科(入院のみ) | |

交通のご案内



- 近鉄京都線 新田辺から 京阪宇治バス約15分
 - JR 学研都市線 京田辺から
 - JR 奈良線 山城青谷から 徒歩 20分
- *... 各駅より送迎車あり



今後の紙面の参考にアンケートにご協力ください。左のQRコードからアクセスし南京都病院だよりを読んだご意見ご感想をお寄せください。

南京都病院だより
2023年春号アンケート
docs.google.com